

平成28年度 「子ども司書」養成講座全体研修

- 日時：平成28年7月27日（水） 10：00～16：35
- 場所：庄原市ふれあいセンター
- 対象者：「子ども司書」養成講座受講者12名（庄原市内小学校5，6年生希望者）

目的

児童の中に読書活動を推進するリーダーを育成し、育成したリーダーが学校や地域で読書活動の楽しさを広めていくことで、児童の読書活動の充実を図るとともに、言語活動の充実により学力向上を図る。

講話 「『子ども司書』になろう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係 指導主事 赤木 一成
庄原市田園文化センター 主任主事 香川 瑠菜



【講話の概要】

- 「子ども司書」の役割は、子供の読書活動を進めるリーダーである。読書の楽しさを周りの友達に伝え、読書を好きになってもらうことが大切である。
- 「子ども司書」に認定されるためには、全体研修と地域の図書館での実地研修、学校での活動を行うことが必要である。
- 田園文化センターの香川主任主事から、実地研修の内容や注意点について説明を受けた。

演習 「『読書っていいな』大作戦！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係 指導主事 赤木 一成



【演習の概要】

- 庄原市の小学校5年生が1週間に家庭で読書する時間のグラフから、分かったことや考えたことを交流した。その後、小学生がもっと本を読むようになるにはどうしたらよいかグループで考えた。
- ・参加した児童は、本の楽しさを伝えるために読み聞かせを行う、おすすめの本の紹介を行う、1日30分の家庭読書運動を行うなどの作戦を考えた。

講話・演習 「読み聞かせのプロから学ぼう！」

読書ボランティア「おはなしのいずみ」 代表 立花 有佐 さん



【講話・演習の概要】

- 読み聞かせをする際に、だれに対して読むのか、どんな本を読むのかという本の選書がとても重要である。
- 絵本の読み聞かせは、絵をしっかりと見せることが必要である。本を持つ際や本をめくる際に、手で絵を隠さないよう留意する必要がある。
- 聞き手の目線と本の高さや向きに留意する必要がある。聞き手が椅子に座っている場合は立って、聞き手が床に座っている場合は、椅子に座って読み聞かせをするとよい。
- 読み聞かせをする際には、何回も練習（目安は100回）をして、臨むことが必要である。

演習 「『おすすめの本のポップを作ろう』大作戦！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係 指導主事 赤木 一成



【演習の概要】

- タイトルや作者名をはっきり分かりやすく書く、内容を少しだけ紹介する、キャッチコピーを書く、輝く言葉を引用する、デザインやイラストを工夫する、どうおもしろいかを書くといった6つのポイントを生かしながら、自分の紹介したい本のポップを作成した。

参加した児童の感想

- ・今日の研修では、読み聞かせの時の本の持ち方や本を読む時のポイントが分かりました。学校では、今日習ったことを活用して、低学年の子供たちに読み聞かせをしてみたいです。
- ・「子ども司書」として、色々な活動をしていくことがとても楽しみです。「子ども司書」として、一人でも多くの読書好きを増やすために、本の楽しさやすばらしさを伝えていきたいです。



参加者全員で記念撮影